

専修大学商学研究所所報

(2017年3月1日現在)

1 運 営

- (1) 第1回定期所員総会 (2016・5・24)
 1. 平成27年度事業ならびに会計報告 (承認)
 2. 平成28年度事業実行計画案 (承認)
 3. 平成28年度実行予算案 (5,925,000円) (承認)【人事課移管分人件費(アルバイト料) 990,000円】 (承認)

(2) 第2回定期所員総会 (2017・1・10)

1. 平成28年度事業中間報告
2. 平成29年度事業計画 (承認)
3. 同 予算要求 (承認)
4. 同 予算要求明細 (承認)

(3) 運営委員会 (6回開催)

1. 平成28年4月19日 商学研究所 (図書館生田分館5階) 第1回運営委員会 (13名)
2. 平成28年5月24日 商学研究所 (図書館生田分館5階) 第2回運営委員会 (17名)
3. 平成28年7月19日 商学研究所 (図書館生田分館5階) 第3回運営委員会 (12名)
4. 平成28年10月25日 商学研究所 (図書館生田分館5階) 第4回運営委員会 (14名)
5. 平成28年12月13日 商学研究所 (図書館生田分館5階) 第5回運営委員会 (13名)
6. 平成29年1月10日 商学研究所 (図書館生田分館5階) 第6回運営委員会 (13名)

2 研究活動

(1) 定例会研究会

1. 平成28年5月26日 サテライトキャンパス 臺 幸好氏 (キリンビールマーケティング(株)執行役員関信越 統括本部長) 「酒類のマーケティングの動向と麒麟のサッカー日本代表 スポンサーの意義」 (20名)
2. 平成28年6月21日 生田キャンパス 10号館 10103教室 濱田 俊也氏 (株式会社 フジテレビジョン) 「熱狂的な消費者とビジネス ～テレビ局のアイドル事業を 例に～」 (205名)
3. 平成28年7月23日 神田キャンパス 7号館 763教室 Matt Allen氏 (オーストラリア, James Cook 大学特任教授, 元 Wollongong 大学大学院文学研究科長) 「オーストラリアからみた ASEAN のビジネス文化」 (15名)
4. 平成28年7月26日 国際交流会館 インターナショナルホールB 渡辺 邦昭氏 (ウィンワークス株式会社 代表取締役社長・株 式会社キャリアクスタクラブ代表取締役社長・日本コーポレ ート・ガバナンス・ネットワーク理事) 「人事生産性向上と雇用改革」 (5名)
5. 平成28年9月27日 商学研究所 (図書館生田分館5階) 勝部 伸夫 所員 「株式会社社の歴史・理論・課題」 (13名)
6. 平成29年1月10日 商学研究所 (図書館生田分館5階) LI Ying (DC, Capital University of Economics and Business, China) 「Research on the Model of network lending platform in China」 (10名)
7. 平成29年3月13日予定 95 I (9号館5階ゼミ室) 北條 大樹氏 (文学研究科 心理学専攻修士課程1年) 田中 利夫氏 (文学研究科 心理学専攻修士課程2年) 柚取 恵太氏 (文学研究科 心理学専攻博士課程1年) 坂本 次郎氏 (文学研究科 心理学専攻博士課程1年) 「階層ベースモデルを用いた耐久消費財におけるテレビ広告 の統合効果と年次の推移の分析」

(2) 公開シンポジウム

1. 専修大学商学研究所主催ミニシンポジウム
 - 1) 日 時: 平成28年7月26日(火)17:30~19:30(参加者32名)
 - 2) 場 所: 専修大学神田キャンパス7号館3階731教室
 - 3) テーマ: 「海岸林管理と地域・企業の関わりの現状」
 - 4) 話題提供:
 1. 国内の海岸林の現状～東日本大震災以降の海岸林との共生～ 吉崎 真司氏 (東京都立大学教授, 日本海岸林学会会長)
 2. 地域と企業との協働による海岸林管理活動の現状 ～佐賀県 虹の松原における再生・保全活動の事例～ 藤田 和歌子氏 (非特定営利活動法人唐津環境防災推進機構 KANNE 事務局長)
 3. 地域と企業の協働による海岸林を活用した商品開発と再生保

全活動への還元 ～虹の松原を守る, 育てる, 潤すプロジェ クト～

- 佐藤 亜貴夫氏 (国土防災技術株式会社)
4. 海岸林とリゾート開発との共生 ～宮崎県一ツ葉海岸林の事 例～ 萩野 裕章氏 (国立研究開発法人 森林総合研究所)

会場内質疑・討論

- 進行: 岡田 稷 (専修大学商学部准教授)
共催: 日本海岸林学会, 専修大学商学研究所

2. 専修大学商学研究所主催シンポジウム

- 1) 日 時: 平成28年12月17日(土)13:30~16:30(参加者21名)
- 2) 場 所: 専修大学神田校舎2号館2階204教室 (神保町/九段 下駅から徒歩5分 御茶ノ水駅から徒歩15分)
- 3) テーマ: 「メコン地域におけるビジネス教育の実態」
- 4) 講 演:
解題 (13:30~13:35)
小林 守 (専修大学商学部教授)

発表

1. 「統計でみるメコン地域の教育」 (13:35~14:35) 高萩 栄一郎 (専修大学商学部教授)
2. 「ベトナムのビジネスと教育」 (13:45~14:15) グエン・バン・パー (駐日ベトナム社会主義共和国大使館参 事官)
3. 「ラオス民間部門開発における教育・研修の役割」 (14:15~ 14:35) 飯沼 健子 (専修大学経済学部教授)
休憩 (14:35~14:50)
パネルディスカッション (14:50~16:20)
(パネリスト)
川村 晃正 (専修大学商学部教授)
小崎 太郎 (株式会社ファミリーマート海外事業本部海外事 業部アセアン第2グループマネージャー)
三上 美弥 (株式会社三進インターナショナルインバウンド マーケティング部シニアマネージャー)
米田 秀平 (米田ベトナム株式会社代表取締役社長) (モデレーター)
大崎 恒次 (専修大学商学部准教授)
まともとあいさつ (16:20~16:30)
内野 明 (専修大学商学部教授)
(司会)
岩尾 詠一郎 (専修大学商学部教授)

(3) 国際シンポジウム

1. 専修大学商学研究所共催 平成28年度 国際シンポジウム
 - 1) 日 時: 平成28年7月23日(土)10:30~13:00(受付10:00~) (参加者36名)
 - 2) 場 所: 専修大学神田校舎7号館3階731教室
 - 3) テーマ: 「周辺国から見た東南アジア経済発展の実態と課題」 主催: 専修大学社会知性開発研究センター/アジア産業研究 センター
共催: 専修大学大学院商学研究科, 専修大学商学研究所,
 - 4) 使用言語: 日本語・英語 (通訳あり)
 - 5) 内 容:
【挨拶・趣旨説明】 小林 守 (アジア産業研究センター代表/専修大学 商学部教授)
 - 【総括】 渡辺 達朗 (アジア産業研究センター研究員/専修大学大学院 商学研究科長/専修大学商学部教授)
 - 【講 演】
 - 1) 日本から見たメコン地域のロジスティクスの実態と課題 岩尾 詠一郎 (アジア産業研究センター研究員/専修大学商学部 教授)
 - 2) 東 ASEAN 成長地域の現状と課題 ジュン・T カストロ (フィリピン: 国立フィリピン大学付属部 市計画・地域計画大学院課程 教授)
 - 3) オーストラリアから見たメコン地域のビジネスと文化 マシュー・アレン (オーストラリア: ジェームズクック大学 特 任教授)
解題: 上田 和勇 (アジア産業研究センター研究員/専修大学商 学部教授)
 - 4) プロジェクト研究会 (内野プロジェクト) メコン地域におけるビジネス教育の実態調査プロジェクト研究会

【挨拶・趣旨説明】 小林 守 (アジア産業研究センター代表/専修大学 商学部教授)

【総括】 渡辺 達朗 (アジア産業研究センター研究員/専修大学大学院 商学研究科長/専修大学商学部教授)

【講 演】

- 1) 日本から見たメコン地域のロジスティクスの実態と課題 岩尾 詠一郎 (アジア産業研究センター研究員/専修大学商学部 教授)
- 2) 東 ASEAN 成長地域の現状と課題 ジュン・T カストロ (フィリピン: 国立フィリピン大学付属部 市計画・地域計画大学院課程 教授)
- 3) オーストラリアから見たメコン地域のビジネスと文化 マシュー・アレン (オーストラリア: ジェームズクック大学 特 任教授)
解題: 上田 和勇 (アジア産業研究センター研究員/専修大学商 学部教授)
- 4) プロジェクト研究会 (内野プロジェクト) メコン地域におけるビジネス教育の実態調査プロジェクト研究会

- 1) 日 時：平成 29 年 2 月 15 日(水)14:00～16:30(参加者 8 名)
2) 場 所：専修大学神田校舎 7 号館 773 教室
3) テーマ：「アジア地域におけるビジネス教育 各国編」
4) 報告者：報告 1：「中国における大学のビジネス教育と企業内教育について」
Ms. Li Ying (中国・首都経済貿易大学博士後期課程)
報告 2：「ミャンマーにおけるビジネス教育について」
エイ チャンピン(熊本学園大学経済学部特任助教)
討 議：メコン地域におけるビジネス教育各国編執筆
について
内野 明 (専修大学商学部教授)

(5) 研究プロジェクト

- (A) 内野チーム：内野 明 所員・岩尾 詠一郎 所員・川村 晃正 所員・高萩 栄一郎 所員・小林 守 所員・大崎 恒次 所員
「メコン地域 (ベトナム, ラオス, カンボジア) におけるビジネス教育—現地提携大学との協力を通じて—の実態研究」
(50 万) 3 ヶ年計画の 3 年目
(B) 吾郷チーム：吾郷 貴紀 所員・岩尾 詠一郎 所員・川野 訓志 所員・渡辺 達朗 所員・新島 裕基 準所員
「買物弱者問題の解明と展望」
(50 万) 3 ヶ年計画の 2 年目
(C) 岡田チーム：岡田 穰 所員・岩尾 詠一郎 所員・大崎 恒次 所員・八島 明朗 所員・小酒井 正和 氏
「海岸林の管理活動への企業参入に向けた研究」
(50 万) 3 ヶ年計画の 1 年目

(6) 国際交流

- 平成 28 年 6 月 8 日
専修大学商学研究所と首都経済貿易大学工商管理大学院は、本組
織間協定書に基づき、その具体化を図るため、以下の協定を締
結する。
第 1 条 教員の交流
第 2 条 相互の啓発と援助
第 3 条 学生の交流
第 4 条 協定書の執行と有効期間

平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月
李 瑛氏 (博士後期課程) が大学研究員として、平成 28 年 9 月
から平成 29 年 3 月まで滞在する。
指導担当教員は小林守所員。

3 刊行書籍

- (1) 商学研究所報発行
第 48 巻第 1 号 (2016・8) 新島 裕基 準所員 (350 部)
「地域課題の解決に向けた地域商業と外部組織との連携—ソー
シャル・キャピタルの観点から—」
第 48 巻第 2 号 (2016・8) 朱 克宇 準所員 (350 部)
「中国における百貨店の現状分析と今後の方向」
第 48 巻第 3 号 (2016・11) 大西 勝明 所員 (350 部)
「ベトナムの工業化と AEC (ASEAN 経済共同体) の結成」
第 48 巻第 4 号 (2017・1) 李 瑛氏 (350 部)
「Research on the Model of network lending platform in China」
第 48 巻第 5 号 (2017・1) 孫 維維 準所員 (350 部)
「中国現代小売業の展開と消費社会の変化—ドラッグストアを
中心に—」
第 48 巻第 6 号 (2017・2) 梶原 勝美 所員 (350 部)
「インターネットとブランド・マーケティング」
第 48 巻第 7 号 (2017・2) 石川 和男 所員 (350 部)
「事業承継政策の展開と支援現場における課題」
第 48 巻第 8 号 (2017・2) 渡邊 隆彦 所員 (350 部)
「企業コンプライアンスにおける PDCA サイクル—Plan ステッ
プと Do ステップの具体的な進め方—」
第 48 巻第 9 号 (2017・2) 奥瀬 喜之 所員 (350 部)
「The effect of the advertising price display format on consumer
price perception」
第 48 巻第 10 号 (2017・2) 趙 時英 所員・関根 孝 所員 (350 部)
「家電品のサービス・マーケティングに関する考察—パナソ
ニックとヤマダ電機のアフターサービスを中心に—」
第 48 巻第 11 号 (2017・3) 勝部 伸夫 所員 (350 部)
「<書評>高岡義幸著『持続的成長のためのコーポレート・ガ
バナンス—株式会社設計思想からの考察—』広島経済大学出版
会 2015 年」
第 48 巻第 12 号 (2017・3) 朱 克宇 準所員 (350 部)
「中国百貨店における運営制の研究」
(2) 専修ビジネスレビュー発行
第 12 号 (白桃書房, 2017・3) (500 部)
(3) 商学研究所叢書
叢書第 16 巻 (白桃書房, 2017・3) (100 部)

4 その他

所員数は、合計 82 名 (内、準所員 3 名)